

つれづれ

平成28年12月1日(木)

頭を使おう



11月中旬、囲碁電脳戦三番勝負が行われていました。趙治勲（ちょう ちくん）名誉名人の前に立ちはだかるのは、囲碁ソフト「Deep Zen Go」。このソフトは、AI（人工知能）とAI自身が学習を深めるディープラーニングを駆使した囲碁ソフトです。このソフトは、今年3月、韓国のプロ棋士、リ・セドル九段に勝ち越しを決めた米国google社開発の「AlphaGo」よりも高性能であると言われていました。互いにハンディキャップをつけない激闘を繰り広げ、第1、3局で趙名誉名人が勝利し、勝ち越しを決めました。

AIはどんどん進化を続けており、身近なところで言えば家電製品などでもその技術が多用されています。車の自動運転技術でもAIは不可欠です。

ある自動車メーカーでは、「やっちゃんえ〇〇」のCMで自動運転をPRしているのは周知のとおりです。

どんどん進化を続けるAI。これに対し警鐘を鳴らす人も出てきました。

2045年、AIが人間の知能を上回るとともに感情を持ち、人の生活に悪影響を及ぼすというのです。（2045年問題）

このことに関する詳しい論文は読んだことがありませんが、私はそのようなことはないと思っています。

人の脳細胞の数は約千数百億個あり、その中には神経細胞（ニューロン）と呼ばれる司令塔の役目を果たす細胞が140億個あります。この細胞は、互いに電気信号でやりとりをして、人の複雑な感情などを生み出しています。

このことをもとに、人の脳とAIを比較することはナンセンスであり、無機質な集積回路の産物であるAIに、生命体である人の複雑な心の動きを作り出すことはできないと断言する学者もいます。

このことは、皆さんの脳が、どんなスーパーコンピュータよりもすぐれた能力を持っていることを表しています。人がそんなすばらしい脳を持っているのなら、これを眠らせておくのはもったいない話です。

本日から師走。テストも終わったことだし、年のしめくくりをのんびり過ごすのも悪くはありませんが、学習、読書、芸術的な創作活動などで、思い切り頭を使い、脳細胞を活性化させて新年を迎えたいものです。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>